

環境ラベルの相互認証に係る調査

1 日中韓相互認証に係る調査

1) 日中韓環境ラベル相互認証の現状

日中韓3カ国は、日中韓環境大臣会合の下に設置された日中韓環境産業円卓会議のもと、2005年から日本のエコマーク、中国・環境ラベルおよび韓国・環境ラベル制度との間で基準の共通化および相互認証の実施に向けた検討を継続し、これまで毎年1回を目安に日中韓環境ラベル実務者会議を開催してきた。

2007年に日中韓3カ国で初めての共通基準「パーソナルコンピュータ(PC)」が合意され、その後、2012年には「複合機(プリンタ・複写機)」、2013年に「DVD機器」、2014年に「テレビ」、2015年に「プロジェクト」、2016年に「塗料」および「文具」の共通基準に関する合意書が締結された。また、2012年には「日中韓環境ラベル間におけるMRAベース認証手順に関する合意書」および「日中韓の相互認証の運用に係わる規則」が締結され、これにより相互認証の実施方法が定まり、日中韓3カ国の相互認証が開始された(現在の対象カテゴリは表1の通り)。これまで日韓間においては、この相互認証の仕組みを利用した日本から韓国・環境ラベルの取得件数が407件(2018/2/28時点)を超えるなど、着実に活用実績が増加している。

平成29年度(2017年度)は、2017年3月の日中韓環境ラベル実務者会議(韓国・ソウル)(以下「実務者会議」という)において共通基準項目が合意された「繊維製品」について、同8月の第3回日中韓環境ビジネス円卓会議(TREB、韓国・水原)で共通基準の合意書を締結した。なお、共通基準化を行う対象として選定された「シュレッダー」、共通基準項目の再設定が必要とされている「複合機(複写機)」については、2018年4月に開催される実務者会議(中国・北京)にて協議する予定となっている。

表1. 日中韓3カ国で共通基準を設定している商品カテゴリ

対象商品カテゴリ [共通基準名]	対応する各国の基準			状況
	日本	中国	韓国	
パーソナルコンピュータ (PC) [CJK-01-2007(B)]	No.119 Ver.2	HJ2536-2014	EL144、 EL145、 EL147	各国基準が数度改定されていることから、2015年4月に共通基準項目の再設定を実施し、覚書を取り交わした。
複合機 (MFD)	プリンタ [CJK-02-2009(C)]	No.155 Ver.1	HJ2512-2012	各国基準が数度改定されていることから、2015年4月に共通基準項目の再設定を実施し、覚書を取り交わした。
	複写機 [CJK-03-2009(A)]	No.117 Ver.2	HJ/T424-2008	
DVD機器 [CJK-04-2013(A)]	No.149 Ver.2	HJ2511-2012	EL432	2013年10月に共通基準の合意書が締結され、相互認証が開始された。
テレビ [CJK-05-2014(A)]	No.152 Ver.2	HJ2506-2011	EL431	2014年11月に共通基準の合意書が締結され、相互認証が開始された。





対象商品カテゴリ 【共通基準名】	対応する各国の基準			状況
	日本	中国	韓国	
プロジェクタ 【CJK-06-2015(A)】	No.145 Ver.1	HJ2516-2012	EL146	2015年4月に共通基準の合意書が締結され、相互認証が開始された。
塗料 【CJK-07-2016(A)】	No.126 Ver.2	HJ2537-2014	EL241	2016年4月に共通基準の合意書が締結され、相互認証が開始された。
文具 【CJK-08-2016(A)】	No.112 Ver.2	HJ572- 2010	EL108	2016年4月に共通基準の合意書が締結され、相互認証が開始された。
繊維製品 【CJK-09-2017(A)】	No.103 Ver.3 等	HJ2546-2016	EL311	2016年3月に共通基準を作成するカテゴリに選定され、2017年8月に共通基準の合意書が締結された。
シュレッダー —	No.161 Ver.1	HJ2512-2012	EL150	2016年3月に共通基準を作成するカテゴリに選定された。
家具 —	No.130 Ver.2	HJ2547-2016	EL172	2017年3月に共通基準を作成するカテゴリに選定された。

2 その他の海外ラベルとの相互認証に関する調査

本項では、日本のエコマークが相互認証協定(MRA)を締結している海外のタイプ I 環境ラベル機関との相互認証について、最新の実施状況を整理した(表 2)。2018年3月時点で、エコマークが相互認証協定を締結している環境ラベル機関は以下の 10 機関である。

表 2. 相互認証協定を締結している海外の環境ラベル機関

ロゴマーク				
国・地域	北欧 5 カ国	韓国	中国	ニュージーランド
ラベル名	ノルディック スワン	韓国・環境ラ ベル	中国・環境ラベ ル	ニュージーラン ド・環境チョイス
ラベル機関 (運営機関)	北欧エコラベル 委員会	韓国環境産業技 術院(KEITI)	中環連合(北京)認 証センター有限公 司(CEC)、中国環 境保護部環境認 証センター(ECC)	ニュージーラン ド エコラベリ ング トラスト (NZET)
対象商品 カテゴリ	複写機、プリンタ	パーソナルコンピ ュータ、MFD(複 写機、プリン タ)、DVD 機器、 テレビ、プロジェ クタ、塗料、文具、 繊維製品	パーソナルコンピ ュータ、MFD(複 写機、プリンタ)、 DVD 機器、テレ ビ、プロジェクタ、 塗料、文具、繊維製 品、スキャナ	複写機、プリンタ
開始時期	2002 年	2010 年	2012 年	2004 年
活用実績	あり	あり	なし	あり

ロゴマーク				
国・地域	タイ	台湾	カナダ(北米)	ドイツ
ラベル名	グリーンラベル	グリーンマーク	エコロゴ	ブルーエンジェル
ラベル機関 (運営機関)	タイ環境研究所 (TEI)	環境開発財団 (EDF)	UL Environment, Inc.	連邦環境・自然保護・建設・原子力安全省(BMUB)、連邦環境庁(UBA)、品質保証・表示協会(RAL gGmbH)、環境ラベル審査会(Jury)
対象商品カテゴリー	複写機、プリンタ、プロジェクタ	—	—	複写機、プリンタ
基本協定締結時期	2004年	2003年	2014年	2014年
開始時期	2014年	—	—	2015年
活用実績	あり	なし	なし	あり

ロゴマーク		
国・地域	香港	シンガポール
ラベル名	グリーンラベル	グリーンラベル
ラベル機関 (運営機関)	グリーン協議会 (GC)	シンガポール環境協議会(SEC)
対象商品カテゴリー	—	—
基本協定締結時期	2015年	2015年
活用実績	なし	なし

1) 北欧5カ国「ノルディックスワン」

北欧5カ国(アイスランド共和国、スウェーデン王国、デンマーク王国、ノルウェー王国、フィンランド共和国)の環境ラベル「ノルディックスワン」(運営：北欧エコラベル委員会)は、現在、58の基準(200以上の商品カテゴリ)において、9,000以上の製品およびサービス(ライセンス数：2,276、企業数：約1,600社)が認定を受けている(2018年1月末時点)。



現在、ノルディックスワンでは、「液状食品用包装」、「スキー板用ワックス」(パブリックコメント実施中)の新基準策定を行っている。また、「充電式電池」など6~8の基準を改定予定である。

2) 大韓民国「韓国・環境ラベル」

韓国の環境ラベルである「韓国・環境ラベル」は、韓国環境部所管の準政府機関である韓国環境産業技術院(KEITI)によって運営されている。2018年2月末時点で160製品および5サービスに対して基準が設定されており、14,542製品(3,650社)が認定を受けている。



韓国・環境ラベルの最新情報としては、平成29年度(2017年度)に新たに策定した基準は、「乳幼児製品」、「DIY用塗料」、「ガスレンジ」、「脚立」および「ランドリー・ドライクリーニングサービス」である。なお、2018年に基準策定・改定を予定している商品カテゴリは、表3の通りとなっている。

表3 韓国・環境ラベルの基準策定/見直し一覧(2018年)

No.	基準番号	商品カテゴリ名	
◆基準策定中の商品カテゴリ (6)			
1		Range hood	レンジフード
2		Clothes dryer	衣類乾燥機
3		Supplies for water play	水遊び用品
4		Frying pans	フライパン
5		Cosmetics container	化粧品容器
6		Solar-powered facility	太陽電池使用施設
◆基準改定中の商品カテゴリ (17)			
1	EL209	General Purpose LED Lamps	LED ランプ
2	EL253	Access Floor	アクセスフロアー
3	EL256	Decorative Synthetic Leather	装飾人工皮革
4	EL267	Uninterruptible Power Supply	無停電電源装置
5	EL311	Clothing	衣類
6	EL312	Bags	バッグ
7	EL313	Shoes	靴
8	EL321	Sanitary paper	衛生用紙
9	EL501	Tires for Passenger Cars	乗用車用タイヤ
10	EL502	Tires for Trucks and Buses	トラック・バス用タイヤ
11	EL503	Gasoline Engine Oil	ガソリン自動車用エンジンオイル
12	EL504	Diesel Engine Oil	ディーゼル自動車用エンジンオイル
13	EL509	Windshield Washers for Automobiles	自動車用窓ガラス洗浄液
14	EL602	Printing and Writing Inks	印刷・筆記用インキ
15	EL703	Solar-powered or Self-generating Products	太陽電池・自家発電使用製品

16	EL724	Biodegradable Resin Products	生分解性樹脂製品
17	EL726	Wood Plastic Composite Products	木材プラスチック複合製品

3) 中華人民共和国「中国・環境ラベル」

中国のタイプ I 環境ラベルは、中国環境保護部環境認証センター(ECC)および中環連合(北京)認証センター有限公司(CEC)によって運営されている「中国・環境ラベル」がある。2018年1月末時点で99の製品カテゴリの基準が設定されており、4,559ライセンス(3,698社)が認定を受けている。

中国・環境ラベルの最新情報としては、2017年度に見直した認定基準は、「ガス炊飯器」、「プラスチック包装製品」および「文化用紙」である。なお、日中韓3カ国の共通基準の対象である HJ/T424-2008「複写機」基準については、「デジタル多機能複写機」として2013年から見直しが進められ、2015年12月16日に基準案のパブリックコメントが公開され、2018年3月1日に改定された。2018年の基準策定計画は、下表4の通りである。

表4 中国・環境ラベルの基準策定/見直し一覧(2018年)

基準番号	商品カテゴリ名	
◆基準策定中の商品カテゴリ		
	食具消毒柜	食器消毒保管庫
	洗碗机	食洗機
	竹质制品	竹製品
◆改定作業中の商品カテゴリ		
HJ/T371-2007	凹印油墨和柔印油墨	グラビアインキ、フレキソインキ
◆基準の開発を計画している商品カテゴリ		
	吸收性卫生用品	吸水性衛生用品
	电炒锅电饭锅	炊飯調理器具
	电磁炉	電磁調理器
	吸油烟机	レンジフード
	化妆品	化粧品
	洗衣店	クリーニング店
	电熨斗	アイロン

4) ニュージーランド「環境チョイス」

ニュージーランド・エコラベリング・トラスト(NZET)が運営している「ニュージーランド・環境チョイス」では、現在、35の製品カテゴリにおいて、1,491の製品およびサービス(企業数:53社)が認定を受けている(2018年2月時点)。

現在、ニュージーランド・環境チョイスでは、新たに「廃棄物処理」、「投資ファンド」の基準が策定中であるほか、「コンクリート製品」、「セメント」、「塗料」の基準改定作業が行われている。今後、新規で基準策定を予定しているカテゴリとしては、「拭き取り用品」がある。



5) タイ王国「グリーンラベル」

タイでは、タイ環境研究所(TEI)が運営している「タイ・グリーンラベル」がある。2018年1月時点で、124ある商品カテゴリのうち30の商品カテゴリにおいて、663の製品およびサービス(企業数:71社)が認定を受けている。



東南アジア地域においてTEIが運営するタイプI環境ラベルであるタイ・グリーンラベルは、同地域の他国と比較しても、基準数や認定製品数が多く、最も成功しているラベルである。タイの公共調達においてもグリーンラベルの取得が有利に働くため、多くの日系企業が複写機、プリンタなどで認定を取得しているが、審査が長期間かかることや審査関係の証明等への対応から、相互認証を要望する声が多い。

2018年1月末時点で124の商品カテゴリがあり、基準数が2015年比で27基準増加している。2017年中に新しく策定された基準としては、TGL-30/2-17 Remanufactured Toner Cartridges(再生トナーカートリッジ)の1つである。また、TGL-11-R3-17 Faucets and sanitary accessories(蛇口等衛生器具)、TGL-33-R2-17 Vehicles(乗用車)、TGL-81-R1-17 Digital Projectors(プロジェクタ)、TGL-86-R1-17 Light Emitting Diode Lamps(LEDランプ)の4つの基準が改定された(表6)。

表6. タイ・グリーンラベルの基準策定/見直し一覧

No	商品カテゴリ		
◆新たに策定された基準			
1	TGL-30/2-17	Remanufactured Toner Cartridges	再生トナーカートリッジ
◆改定した基準			
1	TGL-11-R3-17	Faucets and sanitary accessories	蛇口等衛生器具
2	TGL-33-R2-17	Vehicles	乗用車
3	TGL-81-R1-17	Digital Projectors	プロジェクタ
4	TGL-86-R1-17	Light Emitting Diode Lamps	LEDランプ

6) 台湾「グリーンマーク」

台湾のタイプI環境ラベルとしては、環境開発財団(EDF)が運営している「グリーンマーク」がある。現在、162の商品カテゴリ(有効127、廃止35)において、累計14,762製品またはサービス(有効:4,926、ライセンス数:312)が認定を受けている(2018年1月時点)。



2017年3月以降のグリーンマーク基準の制・改定状況は下表7の通りである。2018年の基準の制・改定の具体的な計画は未定であるが、新規の商品カテゴリを2~3、改定を10カテゴリ程度予定しているとのことである。

表7. 台湾・グリーンマークの基準策定/改定/廃止一覧

No.	分類番号	商品カテゴリ名		公告日時	状況
3	N-02	衛生用紙	トイレットペーパー	2017年9月15日	改定
6	H-01	水硬性混合水泥	水硬性混合セメント	2017年3月8日	改定
20		可重複使用之購物袋(廃止)	再利用可能なショッピングバッグ(廃止)	2017年8月4日	廃止
29	K-04	冷気機	エアコン	2017年4月11日	改定

No.	分類番号	商品カテゴリ名		公告日時	状況
35	E-01	堆肥	堆肥	2017年9月15日	改定
45	--	黑白影印機(廃止)	白黒複写機(廃止)	2017年8月4日	廃止
48	K-06	除湿機	除湿機	2017年7月18日	改定
49		普通紙傳真機(廃止)	普通紙ファックス機(廃止)	2017年8月4日	廃止
55		木製傢俱(廃止)	木製家具(廃止)	2017年8月4日	廃止
63		木製玩具(廃止)	木製のおもちゃ(廃止)	2017年8月4日	廃止
64		充電電池(廃止)	充電式電池(廃止)	2017年8月4日	廃止
85		視訊媒体播放機(廃止)	ビデオメディアプレーヤー(廃止)	2017年8月4日	廃止
95		植物油油墨(廃止)	植物油インク(廃止)	2017年8月4日	廃止
97	C-11	床墊	マットレス	2017年9月15日	改定
100	B-05	配電用變壓器	変圧器	2017年11月23日	改定
158	G-09	育樂場所	レクリエーション施設	2017年3月8日	新規
159	C-22	空氣濾網	エアフィルター	2017年3月8日	新規
160	C-23	枕頭	枕	2017年9月15日	新規
161	I-05	蓮蓬頭	シャワーヘッド	2017年11月23日	新規

7) 北米「エコロゴ」

エコロゴは、UL(UNDER WRITERS' LABORATORIES INC.)によって運営されており、2018年1月時点で82の商品カテゴリがあり、57の商品カテゴリで6,889商品(ライセンス数:336社)の認定実績がある。なお、ULは日本にもオフィス(株式会社UL Japan)があり、エコロゴは日本の窓口で申請、取得が可能となっている。



8) ドイツ連邦共和国「ブルーエンジェル」

ブルーエンジェルは、1978年に世界で初めて開始されたタイプI環境ラベルで、ドイツ連邦環境・自然保護・建設・原子力安全省(BMUB)が所有権を持ち、ドイツ連邦環境庁(UBA)、ドイツ品質保証・表示協会(RAL gGmbH)、環境ラベル審査会(Jury)の3機関が連携して運営している。2017年12月時点で、120の商品カテゴリ数に対して、約12,000の製品またはサービスが認定されている。そのうち、複写機・プリンタなどの画像機器の認定数が最も多く、この分野での日系事業者の取得例も多い。



2017年1月以降に、ブルーエンジェルで新たに制定された基準(見直しも含む)、策定中の基準は表9のとおりである。

表 9. ドイツ・ブルーエンジェルの基準策定/見直し一覧

基準番号	商品カテゴリ名		制定	有効期限	状況
◆2017年度に制定・改定を実施した商品カテゴリ					
RAL-UZ 14a	Recyclingpapier	再生紙	2018年1月	2020年	見直し
RAL-UZ 14b	Fertigerzeugnisse aus Recyclingpapier für den Büro und Schulbedarf	オフィス・学校用再生紙 製品	2018年1月	2020年	見直し
RAL-UZ 34	Abwehr und Bekämpfung von Schädlingen ohne giftige Wirkung	有害性の低い害虫の防 除・禁忌剤	2017年1月	2021年	見直し
RAL-UZ 57a	Thermische Verfahren zur Bekämpfung holzerstörender Insekten	木材保存のための熱処理 方法	2017年1月	2021年	見直し
RAL-UZ 57b	Thermische Verfahren zur Bekämpfung von Schädlingen in Innenräumen	屋内用害虫防除のための 熱処理方法	2017年1月	2021年	見直し
RAL-UZ 59a	Kommunalfahrzeuge	市営車両	2018年1月	2020年	見直し
RAL-UZ 59b	Omnibusse	バス	2018年1月	2021年	見直し
RAL-UZ 78	Computer und Tastaturen	コンピュータおよびキー ボード	2017年7月	2019年	見直し
RAL-UZ 106	Mobiltelefone (Ausgabe Juli 2017)	モバイルフォン	2017年7月	2020年	見直し
RAL-UZ 154	Textilien	繊維製品	2017年7月	2021年	見直し
RAL-UZ 160	Router	ルーター	2018年1月	2020年	見直し
RAL-UZ 206	Gartengeräte	園芸用品	2017年1月	2021年	新規
RAL-UZ 207	Spielzeug	玩具	2017年1月	2020年	新規

基準策定以外のブルーエンジェルの動向としては、ブルーエンジェルが2018年で40周年を迎えることを機に、2017年8月29日付でロゴのデザインを一部変更することが発表された。これまでのロゴは、ロゴの下部にその製品が保護する4つの目的として、「健康を守る」、「気候を守る」、「水を守る」、「資源を守る」が基準毎に明記されていた。新しいロゴでは、国連環境計画の青い天使のエンブレムには変更がないが、モダンで明確な発信効果を狙ったデザインに変更された。2018年1月1日以降、製品にはこのロゴマークを使用することが求められる。

■変更前のロゴデザイン(RAL-UZ171)



← ブルーエンジェル

← エネルギー効率がよく、低エミッション(基準毎に表記は異なる)

← 気候を守る

■新しいロゴデザイン



ドイツ語表記



← ブルーエンジェル

← ドイツ・エコラベル